宮島水族館：瀬戸内海

宮島は瀬戸内海にある 700 近い島々のうちの 1 つで、広島湾の中の陸地近くにあります。この島は古代から神聖な場所と見なされ、常に僅かな人数の人しか住んでいませんでした。その結果、宮島は比較的人の手で荒らされておらず、工業化以前の日本の環境がどのようなものであったのか示す好例になっています。

宮島水族館で訪問者は、島に隣接する周辺環境や、瀬戸内海の幅広い生態系、およびその本土との関係性を詳細に再現したものを見ることができます。それぞれの水槽には、海岸や水面から深海や海底まで、海のさまざまな部分が示されています。

瀬戸内海は 430 種以上の海洋生物を支えています。水族館に展示されている海の生き物の多くは、宮島の周辺でも見ることができます。例えば、島を発着するフェリーの上では、地元で生まれ育つスナメリを見ることが人気の気晴らし方法です。一方で、カブトガニやフグが海岸のより近くで見られることもあります。訪問者がその下を歩くことができる水族館最大の水槽には、アカエイやサンゴ礁に住む小型のサメなど、普通に泳いでいるだけでは出会う可能性の少ない生き物たちが収容されています。